

平成26年5月定例教育委員会会議録

平成26年度塩尻市教育委員会5月定例教育委員会が、平成26年5月29日、午後1時15分、塩尻総合文化センター302多目的室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について
報告第2号 6月の行事予定等について
報告第3号 後援・共催について

4 議 事

5 その他

- その他第1号 平成26年度教育委員会関係補正予算（案）について

6 閉 会

○ 出席委員

委員長	小 澤 嘉 和	委 員	小 島 佳 子
委 員	石 井 實	教育長	山 田 富 康

○ 欠席委員

職務代理者 渡 辺 庸 子

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	保 科 隆 保	こども教育部次長 (教育総務課長)	小 林 克 則
こども課長	羽 多 野 繁 春	家庭支援室長	百 瀬 公 章
生涯学習部長	岩 垂 俊 彦	生涯学習部次長 (スポーツ振興課長)	青 木 実
社会教育課長	百 瀬 義 幸	平出博物館館長	小 林 康 男
男女共同参画・人権 課長	寺 澤 好 則	市民交流センター次 長 (交流支援課長)	小 澤 和 江
子育て支援センター 所長	掛 川 佳 子		

○ 事務局出席者

教育企画係長 米 窪 昌 紀

1 開会

小澤委員長 こんにちは。急に暑くなった中、御参集いただきありがとうございます。ただいまから5月の定例教育委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。本日、渡辺職務代理から欠席の連絡がありましたので、御承知おきいただきたいと思います。

2 前回会議録の承認について

小澤委員長 次第に従いまして2番、前回の会議録の承認について、事務局お願いします。

米窪教育企画係長 前回4月定例教育委員会の会議録につきましては、既に御確認いただいております。本会議終了後に御署名いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

小澤委員長 よろしいでしょうか。それでは、そのようにお願いいたします。

3 教育長報告

小澤委員長 3番、教育長報告に入ります。教育長から総括的にお願いします。

山田教育長 それでは、お願いいたします。水田には早苗が植えわたされて、街路樹の緑が本当に日一日濃くなってくる、そんな気がします。季節は確実に初夏に向かっていくなあと、そんなことを思っているところであります。

さて、教育委員会制度の抜本的改革を目指す地方教育行政の組織運営に関する法律の一部を改正する法律案が先週20日に衆議院で可決し、23日には参議院に送られました。恐らく今国会末までに可決することが確実となっております。今回の改正ですが、昭和23年の教育委員会制度発足から最も大きな改正となります。施行期日が平成27年4月1日となっておりますので、これからのわずかな期間で新たな制度の運用について、十分な検討を行わなければなりません。皆様方の御協力をお願いいたします。

また、本年度は平成27年度から4年間使用する小学校用の教科書を選定する年となっております。昨日、教科書用図書採択研究協議会がスタートいたしました。今後、5回にわたる調査研究委員会が持たれた上、7月18日の採択研究協議会におきまして各調査委員会から報告があり、協議会としての採択教科書を選定する運びとなっております。その結果を受け、7月の定例教育委員会で本市の教育委員会として採択する教科書を決定し、県の教育委員会に報告するという手続きとなっておりますので御承知おきください。

それでは、本日は保育園の全園訪問について、それから、ファミリースポレクフェスティバルについて、それから、平出の本棟造りの集落の報告書が出ましたので、それについて報告をしたいと思います。

初めに保育園の全園訪問を通してですが、現場に立って、そして現場感覚を持って事業に当たりたいという、そういう思いがありましたので、4月下旬から5月上旬にかけて保育園全15園を訪問させていただきました。特に各保育園で重点的に取り組んでいること、それから特色ある保育活動、またその取り組みによる成果、さらに各保育園が直面している課題について共有したいなど、そのように考えました。市内の各園では、園長のリーダーシップと保育士の主体的なかかわりによって、各園としての重点を定め、特色ある保育に取り組んでおりました。そのことにより、成長する園児の姿として成果につながっていることも多いなというように思いました。今後も小中学校や地域の施設などとの交流活動の推進、五感を働かせた体験的な活動の積み重ね、運動や遊びを通したたくましい子供の育成、一人一人の特性に合わせた保育の充実、子供の主体性、創造性を育てる活動の工夫、保育士としての資質向上のための研修、研究の充実などについて、各園との連携をと

りながら一層強化をしていきたいなど、そのように思ったところであります。

また、課題としては幾つかの内容が共通しておりました。そのうち、家庭の教育力の低下や保護者自身の抱える孤立でありますとか、鬱病でありますとか、情緒不安、精神疾患、DVや虐待、貧困等々、こうした状況が子供の心身の健やかな成長にも重大な影響を及ぼしているということがわかってまいりました。どこの園にも共通しておりますし、園としては児童への個別の支援と同時に、保護者との相談活動も一生懸命取り組んでいるところであります。これからもさらに他機関との連携でありますとか、または必要なことについては保護者への啓発等々、保護者への支援の充実も求められるのではないかと、そのように考えているところであります。また、こうした課題に対応する保育士の研修も必要ではないかと思ったところであります。このほかにも、子供や保護者同士、また子供や保護者と保育士とのよりよい人間関係づくりでありますとか、相互に学び合える、高め合える、園長を中心とした職場の同僚性の確立、小中学校と連携した一貫した幼年教育の推進、園児が主体的にかかわる体験活動の充実等々の課題もありますので、こうした課題を共有した上で解決に向けた取り組みを進めるべく、園長会などでの懇談会の機会に諮ってまいりたいなど、そのように思っております。

次に、ファミリースポレクフェスティバルであります。5月のさわやかな空気の中、美しい若葉に囲まれたスポーツ公園を中心に、ファミリースポレクフェスティバルが多くの参加者を得て開催されました。参加者それぞれが、それぞれのコーナーにおいてスポーツやレクリエーションに親しむよい機会となっております。しかしコーナーの中には、担当者が参加者が来るのを待つという、そんな場面もありました。市民みな1スポーツを推進しておりますけれども、週1回スポーツ活動に親しむ成人が3人に1人余という、そうした実態もありますので、さらに参加者をふやし、実質的に体を使うことを継続していく契機となる会にするためには、この会をどのように改善発展させていくことがよいのか、検討が必要とも思われました。今後進めていくスポーツ推進計画策定の懇話会の中で、市民みな1スポーツを目指す取り組みの一環として、総合的に議論を進めていかなければならないなどというように思っております。

最後に、平出集落の本棟造り民家の報告書が刊行されたことにつきましてであります。最近手元に平出伝統的建造物群保存対策調査報告という冊子が届けられました。平出の遺跡や本棟造り集落、また自然環境などが有機的に結びついている文化的な景観に着目し、それを価値づけるために平成24年、25年度をかけて奈良文化財研究所を中心として調査を行い、その結果が報告書という形で提供されたものであります。この報告書を見させていただきましたけれども、平出集落のこの景観が後世に残すべき、大切にまた誇るべき文化財であることが価値づけられたのではないかなど、私も確信することができました。今後、地域の皆様との連携を図りながら、保存、整備といった地域づくりにかかわるわけでありましてけれども、自然環境に調和し、長い歴史的な時間をかけて形成されてきたこの集落のよさを長く継承できるよう、今後も地道な取り組みを進めていかなければならないなどということを思いました。以上、報告とさせていただきます。

小澤委員長 ありがとうございます。今5点にわたって報告をいただいたわけでありましてけれども、3番目の保育園訪問についての成果と課題について、詳しく説明してもらいました。子育てセンターの所長さん、付け加え、あるいは解説等ありますか。

掛川子育て支援センター所長 特にありません。教育長さんには、まだ支援センターにはいらしていただいてないので、ぜひ、近々お出でいただきたいと思っております。

山田教育長 はい。近々、よろしくお願ひします。

小澤委員長 ありがとうございます。今、教育長のほうから若い親御さんの孤立化というか、関係の薄さというか、どこかで悩みを出す場所が少ないというようなお話があったわけですが、過日、

私も地域の育成会に顔を出したんです。そこでもやっぱり、地域のそれぞれの役職の方が、このことを言っていました、孤立化が非常に進んでいる。何かもやもやしたものを持ってるような雰囲気があるんだけど、自分からは出さない。スーッと引いて行っちゃう。だからあえてこちらから声をかけて、そして、気を抜いてやるのがうんと必要だと。それで、声をかけるととにかく話をしてくる。たまったものをどンドン話したい雰囲気です。話をしてくるっていうことを話していただいたんです。しかるべき立場の人は、そういう親御さんを見つけては声をかけるという。それで、地域の子供たちは、地域の者たちがみんなで育てるという原点に帰ろうというようなことで落ちついたわけでありまして。また、そんな面で御尽力いただければと思います。委員の皆さん方で、今の教育長報告についていかがですか。

○報告第1号 主な行事等報告について

小澤委員長 報告第1号、主な行事報告についてであります。1ページから3ページまであります。委員の皆さん方、参加された中でお感じになった点、お寄せいただければと思います。小島委員さん、お願いします。

小島委員 私もファミリースポレクフェスティバル、子供と一緒に行ってまいりました。天候にも恵まれて、昨年と違ってたくさんの方にいらしていただいて、それでその中でも、若いお父さん、お母さんが小さなお子さんを連れて来ている姿が多く目につきました。ボールを投げたり、サッカーボールをキックしたりして、小さなお子さんでも楽しめるように工夫されていて、とてもよかったです。スポーツに親しむ、家族で楽しむという目的は達成されたのではないかなと思っております。暑い中御苦労してくださったスタッフの皆さんには感謝申し上げたいと思います。以上です。

小澤委員長 ありがとうございます。

石井委員 ファミリースポレクについて、教育長先生のお話の中に、まだまだやはり1人1スポーツを目指している塩尻市のスポーツ振興課にしては、というようなお話もありましたけれども、実は、平成元年のスポーツ宣言をするときに、宣言だけしたんではいけないなとうことで、このイベントを考えました。地区の運動会もかなり行われなくなったということもありましたので、地区の運動会でもできるようなプログラムというようなことも考えながら企画立案してきたわけですが、先ほどもちょっとまだ参加者が少ない、またここへ参加するだけでなく、日常生活にも運動を取り入れる機会をとということでお話があったわけですが、まず市民の皆さん方が人間の幸せって何だろうということがわかってないかなというふうに。人間の幸せっていうのは、即健康だというふうにも思っていますし、私ども、そんな考えでこういったことをやってきたわけですが、やっぱり自分たちの幸せは自分の体、健康だということに身にしみてわかっていただければ、もっと運動をする人たちが多くなって、スポーツに参加する人が多くなってくのではないかなと考えております。そんなことで、これからもスポーツ振興課を中心として、大いにそういった啓蒙をしていただきたいなと、こんな具合に思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。以上です。

小澤委員長 ありがとうございます。今、ファミスポの件が話題になっておりますけれども、私もこれに関連して一言お願いします。1点目です。昨年までは9月、秋に行われたわけでありましてけれども、今年から事情があって5月に来たということで、春に持って来たということは成功したなことを思います。というのは、天気も安定しておりますし、何よりも天候や季節に誘われると、浮き浮きする気分になるんです。その浮き浮き感というのが、たくさんの参加者に結びついたんだらうななんてことを思いまして、5月に移行したのは大成功だと思います。

それから青木次長さんのほうからリニューアル、新たなものを取り入れていかなくちゃいけない

ということを一昨年来から言われてきたわけでありますけれども、今年、それが見事に花開いたって言いますか、形となってあらわれてきておりました。テニスの体験教室を取り入れる、あるいは弓道の体験教室、それから、何よりも今ときめく山雅との交流を取り入れたというようことで、大変参加者の方々も喜んで体を動かしておりました。特に山雅の体験を見させてもらっていると、私は、すぐボールを使って試合テクニックを伝授してくれるのかななんて思ってたんです。ところがそうじゃないです。基礎体力づくりのほうもうんと重視してるんです。いろいろなツールを持って来て、山雅の選手たちが、とにかく誉め、いいぞ、いけるぞというような支援の声をかけたりして、とても和やかにやってもらって、親たちも普段見られない子供の笑顔に接して大変喜んでおりました。私は、自分の過去を振り返ると、体育の授業があると、準備体操っていうのは大体ラジオ体操とか、あるいは走ってこいとか、そんな感じでした。この山雅の方々っていうのは違うんです。本当に子供の意欲というのを引き出すような工夫もしている。ぜひ、あの山雅のあの若い人たちが学校へ入って、学校の教員にそのわざを伝授する場っていうのを設けていただきたいなっていう願いを持ちました。それから、何よりも驚いたのは、消防署が参加してるんです。消防署のポンプ車の公開と、それからAEDを実際にやっている場面があって、地域一帯がファミスポの場になってきたんだなということで、今年は、今までの趣と違っておまして、感動いたしました。駐車場の件についてちょっと心配したんですけども、回って見れば不都合はなかった。不足するとか、途中どっか入れなくて帰っちゃう、そういうようなことは見えなかった。雪の山もあったんですけども、いい1日になったなっていうことを思いました。

それからもう1点。小坂田公園、報告の5月19日に、よちよちキッズ集まれ！。今までどちらかと言えば箱物の中で催し物やってたんだけど、外へ出て行って、しかも小坂田公園に目をつけたっていうこのアイデア、目のつけどころ、私はうれしく思いました。小坂田公園のあの広場っていうのは、子供が集うには最高にいいところだと思いますが、若いお母さん方に聞くと、塩尻には自然の公園がない。身近に公園が、遊ぶところが、安心して遊ぶところがない。小坂田公園、遠くて暗いし寒いし、なんて話、聞くんです。だけど、これから初夏に向かっては最高にいい場所だと思い、盛況が期待されます。ただ1つ、進入道路っていうのかアクセス道路が分かりにくく、入りづらいんです。わからなくなっちゃう。トンネルからくぐっていくとマレットのほうへ行ってしまって、迷っちゃうんです。企画課の方々とうりやすいようなアクセス道路をつくっていただければうれしいな、そんなことを思います。

主な行事、よろしいでしょうか。たくさんの行事があって、私たちも参加させていただかなければいけないわけでありますけれども、少なくとも済みません。

○報告第2号 6月の行事予定等について

小澤委員長 6月の行事予定に入ります。4ページ以降であります。目を通していただいた中で疑問になる点、あるいは質問したい点あったらお寄せください。

6月の行事予定、よろしいでしょうか。

石井委員 6月14日の東筑摩塩尻の中体連の大会ですけども、塩尻で行われる種目は何ですか。
米窪教育企画係長 塩尻で行われます大会ですが、まずバスケットボールが塩尻中学校の体育館で行われます。バレーボールの男子が丘中学校の体育館。バレーボールの女子が塩尻西部中学校の体育館。あとサッカーは、中央スポーツ公園のサッカー場になっております。あと、ソフトテニス中央スポーツ公園のテニスコート。あと剣道が広陵中学校の体育館。卓球が榑川の屋内運動場すば一く榑川で行われる予定となっております。詳しい資料につきましては、協議会のおきにお配りしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

石井委員 はい、ありがとう。

小澤委員長 それでは、次の項に入ります。お願いします。

○報告第3号 後援・共催について

小澤委員長 後援・共催の報告です。目で追っていただいて御質問等ありますでしょうか。

時期もあると思うんだけど、やっぱり人間にとって運動っていうのが大事だってことがわかりました。

石井委員 そういうこともあるので、中学の朝練をやめるなんてことは言わないでいただきたい。

小澤委員長 それでは、後援・共催のほうは終わりにいたします。

4 議事

小澤委員長 本日、議事はございません。その他のほうへ入ります。よろしいでしょうか。

5 その他

○その他第1号 平成26年度教育委員会関係補正予算（案）について

小澤委員長 それでは、その他の案件へ入ります。資料で言いますと11ページから18ページまでであります。平成26年度教育委員会関係6月の補正予算（案）について事務局から御説明をお願いいたします。

小林こども教育部次長（教育総務課長） それでは教育総務課からお願いいたします。主な補正科目は、小学校の管理諸経費と中学校の管理諸経費でございます。まず、小学校の管理諸経費につきましては、理由は同じでございますが、塩尻西小学校のお子さん、児童数、2学年が、普通教室の児童が71人になりますことに伴いまして、クラスが増級になっております。それから特別支援学級につきましても自・情障の関係のお子さんの対応が増えまして、その関係でクラスが1つ増えております。その結果、学校で使います備品それから消耗品等の今回補正をお願いするものでございます。本来であれば当初予算で措置するものでございますけれども、3月ぎりぎりになっての転入でクラス編成が変わってしまったために、今回の補正をするというものでございます。職員等の対応はつきまして、今、現状でクラスはちゃんと運営されておりますので、足りないものをこの補正で補わせていただくという形のものでございます。

それから3番目になりますが、中学校管理諸経費で、負担金と旅費の関係でございます。こちらにつきましては、ALTの方が交代になりますので、その来日のための、それから帰国のための旅費につきましてそれぞれ補正するものでございます。これにつきましては、2月の終わりから、JETのほうで留任するかどうかという照会がありまして、3月の頭にそのお返事をそれぞれALTの皆さんからいただくという形になっておりまして、当初予算では計上ができないために今回の補正で対応させていただくものでございます。現任のALTは、広陵中学校に赴任していただいておりますバート・ネイションさん。新任の方はシェリル・リーさんという方で、7月末から8月の頭にかけて来日予定ということになっております。ちなみにバート・ネイションさんは広陵中学で平成22年から御尽力いただいております。その関係の旅費とですね、あとその旅費としてJET自治体国際化協会のほう、旅費の負担金という形で出す部分につきましては補正をさせていただくものです。以上でございます。

小澤委員長 生涯学習お願いします。

百瀬社会教育課長 それでは、お願いいたします。13ページになりますが、公民館分館施設の整備事業の補助金ということで、今回補正額169万8,000円をお願い申し上げるものです。この

内容につきましては、当初予算提出後、2月の大雪、大変な降雪量がありまして、この影響で大門五番町の公民館と北小野古町公民館の2つの分館で、圧雪によって、屋根が崩壊したり、雨漏りになってしまったということが、急遽判明したものですから、これに対応するための補正ということで、それぞれの区長さんからの強い要望を受けましてお願い申し上げたいということでありまして、よろしくお願いたします。

小澤委員長 ただいま教育総務課と社会教育課から説明をいただきました。何か御質問、御意見等ありましたらお願いします。

石井委員 ちょっとお聞きしたいんですけど、教育総務課のほうのこのALTの先生は平均何年ぐらい、こちらへ来て担当をしていただいているわけですか。

小林子ども教育部次長（教育総務課長） バート先生につきましては22年の7月からになりますので、4年。

石井委員 平均的に外国から来ている方の滞在というのは、そのぐらい、2、3年はかかる。

小林子ども教育部次長（教育総務課長） そうですね、おおむね2、3年ぐらいになります。短い方ですと1年ぐらいで帰った方もいらっしゃいますけれども。

石井委員 旅費が高いんで、あんまり、2、3カ月でもって行ったり来たりしたら。

小澤委員長 慣れる意味からしても、長い方が良いでしょう。

石井委員 はい、わかりました。

小澤委員長 1点、お願いします。西小は、70人から71人に急遽増えた。正規教員が配置をされているわけですか。

小林子ども教育部次長（教育総務課長） 県費のほうで対応されております。

小澤委員長 もしまた誰か1人が転出した場合には、市費負担になる。

山田教育長 今は、校長会が、欠員補充と併せて郡市内全体で対応していくということになります。

小澤委員長 わかりました。特別支援学級は、8人が12人に増えています。

石井委員 西小だけで、こんな8人から12人に増えているのですか。

小澤委員長 新聞報道にもあるように、特別支援学級に向かう子供たちが相当増えてきているんです。こういうことは西小以外にも予想されると思うんですけども、それへの構えっていうか対応っていうか、シミュレーションは、どんな状況になっています。

小林子ども教育部次長（教育総務課長） 一応、自・情障学級の定員としては、とりあえず1クラスの定員としては8人っていうのがマックスっていう形になっております。実は他の学校でも、クラスの振り分けの関係で若干人数が当初よりも変わってしまうっていう学校もあって、たまたまそこはボリュームの中で、やっていけたんですけれども。確かに昨今、自・情障等のお子さんが増えているという気はしております。反面、その逆に自・情障のクラスに本当は入ってほしいんですけども、普通学級を御希望されるという家庭もいらっしゃいます。そういうところの中で、やはり私どもとしても、やはり親御さんの、保護者の要望という中と、学校としての運営のところではなかなか苦慮する対応をしている部分というのもございます。ただ、今、元気っ子の成果や何かの中で、特に新生の場合とかに自・情障の中にどのぐらいのボリュームの人が入ってくるか、何人ぐらい入ってきてそうとか、割とつかめてきた部分があるかと思っておりますので、そういうところではかなり精査の中で対応はしているのではないかなと思っておりますけれども。ただ、転入とかになってしまいますとなかなかわからない部分もあります。そこら辺についてはちょっと大変苦労しているということです。

小澤委員長 普通学級の中で生活するよというインクルーシブの方向へ変わっている中において4人が一気に増えるってことは、就学指導委員会が必要だと認めて、より前進的にやったと思う

んです。

百瀬家庭支援室長 やはり元気っ子応援事業の中で継続的に元気っ子相談をしていく中で、必要に応じて就学指導委員会にお願いをしているところがございます。ただ、教育総務課長からもお話があったように、保護者の意向というものを最優先させるところがありますから、なかなか就学指導委員会の決定どおりというわけにもいかない部分もございますので、その部分っていうのは、やはり苦慮しているところが、こっちは苦慮してないんですけども、学校のほうでですね、ちょっと苦慮して支援をつけるとかいうような形で対応するっていうようなことになろうかと思えます。

小澤委員長 ありがとうございます。

石井委員 こういう具合に手厚く見てやっているっていうことは非常にいいことだと思うけども、反面、普通学級のほうからこっちへ入ってもらいたいなっていう子供のほうが多いんじゃないかなと思って。それが、親が反対されていてなかなかそういうところまで話ができないかなというようなことも苦慮されているんじゃないかと思うけども、そういう親御さんもいるわけですね。こっちのほうへ来てもらいたい、本当ならこっちでもって預かりたいけれども、うちの子はまだ普通学級でいいですよっていうような方も大勢おられるんじゃないかな。

百瀬家庭支援室長 今、元気っ子応援事業の中で継続的に小学校とか、今年から中学まで行っていますが、フォローアップの訪問させていただく中で、なかなか保護者相談にうまく結びつかないところがありますから、そのことはこちらも、問題意識を持っています。できるだけそういうフォローアップの中でお子さんの状況を見る中で、うまく学校と家庭と家庭支援室という核の中で、また保護者とも相談の機会を設けるなどしながら、適切な教育の場をお互いに相談をしながら進めていきたいと考えております。

小澤委員長 年齢を重ねてくるに従って、普通学級から自・情障へ行くっていうことは非常に難しい面もあります。学年が低いときに、個に応じて、適切に特別支援学級へ入るっていうアクションを起こしてくるっていう方向は、大事なことと思えます。

山田教育長 今の話のように、市のほうとすれば、各学校の校内就学指導委員会または保育園から上がってくるさまざまな情報によって、就学指導委員会で適正な判断をしていただいて上がってきていることが1つあります。あと県の教育委員会のほうも特別支援学級、特に自・情障の学級がかなり急激に増加しているの、本当にその子供たちが自・情障の学級で学ぶのが必要かどうかということを中心に厳密に昨年度末に判断いたしました。ですので、各学校で特別支援学級の編成計画をもとにしながら、校長と主幹指導主事とのかなり厳密なやりとりの中でその子が特別支援学級を一番基盤にして学ぶことが適切であると判断された数が、この数ということになっておりますので御承知いただきたいと思えます。また特に、中学校の自・情障の学級については、不登校でありますとか発達障害があるということだけで自・情障学級入級というようなことが仮にもないように、その子の特性にあった適切な環境で学ぶ体制づくりを考えておりますし、今後も考えてまいりたいと思えますのでよろしくお願ひします。

小澤委員長 それでは、よろしいでしょうか。ありがとうございました。用意された案件以上であります。事務局のほうでこの他にありますでしょうか。

米窪教育企画係長 本日お配りしました塩尻市民芸術祭の展示発表の部と舞台発表の部のプログラムが2部いつているかと思えますけれども、展示発表の部は、明日から開催されます。舞台発表の部につきましては、6月1日の日曜日、レザンホールで行われますので、ぜひ御来場いただきたいと思えます。また、1枚、チラシでお配りしたいわさきちひろピエゾグラフィ展。こちらにつきましては、主催が塩尻市と塩尻市教育委員会ということになっており、6月8日から6月29日までこの総合文化センターで開催しております。こちらのほうもぜひご覧いただきたいと思えます。

以上です。

小澤委員長 委員のほうからありますでしょうか。よろしいですか。

6 閉会

小澤委員長 予定された案件は全て終了いたしました。時間は早いわけでありますけれども、これで5月定例教育委員会を終わります。ありがとうございました。

○ 午後1時54分に閉会する

以上